

よかったね美穂ちゃん

(特別活動)

対象：中学生

本時案

1 本時の主眼

部落差別を乗り越えようとしてきた小林さん夫妻に共感した生徒が、小林さん夫妻の娘である美穂さんの気持ちを考えることを通して、自分は差別とどう向き合うべきか考えることができる。

2 本時の位置 2 時間扱いの第 2 時

前時…DVD「ドキュメンタリー結婚」(前半)を視聴し、小林夫妻の結婚差別を通して部落差別の事実について知った。

3 人権教育の視点

- 美穂さんがビデオ出演を決断した思いに迫り、部落差別の現状を理解する。(知識)
- 美穂さんの思いをもとに、自分が差別と向き合い差別をなくしていこうとする意欲態度を養う。(価値・態度)

4 指導上の留意点

- DVD (前半) は、前時に視聴しておき、小林夫妻の受けた部落差別の内容を把握しておく。
- DVD を見て、美穂さんの気持ちを考える際には、実際にインタビューで話した内容だけでなく、言葉にできない思いについても推量し、考えるようにする。
- 若宮さんの「よかったね美穂ちゃん」(朝日新聞)の資料を提示し、明るい展望をもって終えるようにする。

5 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	○教師の指導・援助 ◎人権教育の視点	時	備考
導 入 ／ 展 開	1 DVD (前半) の内容を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・小林夫妻って美穂さんの両親だった。 ・美穂さんの両親の受けた厳しい結婚差別を知った。 ・美穂さんのおじいさんは理解してくれていないのかな。 	○前半のあらすじや登場人物を確認しながら、小林夫妻に厳しい結婚差別があったことを一緒に確認する。	5	「ドキュメンタリー結婚」DVD (後半) 学習カード
	2 「ドキュメンタリー結婚」(後半)を視聴し、美穂さんの気持ちを考え合う。	<p>大人になった美穂さんは、どんな思いを伝えたくてビデオに出演したのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美穂さんは、前のビデオから大人になって、両親の気持ちやおじいさんの気持ちなど、いろいろ考えるようになったから、今思っていることをそのまま伝えたい。 ・自分の出身のことを真剣に考えていることを伝えたい。 ・ビデオに出て、自分の今の気持ちを理解してくれる人を増やしたい。 ・このビデオをおじいさんにも見てもらって、わかってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習カードに自分の感じたことや考えたことを書くよう促す。 ○数人発言後、ペアやグループで意見交換できるよう声掛けする。 ○美穂さんが堂々とビデオに出演したことは、部落差別と向き合う判断・決意をした姿であることを肯定的に受けとめ、共感できるようにする。 	30	

<p>／ ま と め</p>	<p>3 美穂さんの思いをもとに、差別をどう向き合っていくべきか考える。</p> <p>4 本時を振り返る。</p>	<p>伝えたい思いがあったのに、美穂さんがずっとビデオに出演しなかったのは、なぜなのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実は、今だってずっと悩んでいるんじゃないのかな。 ・ビデオを見て悪く受け取る人もいるかもしれないな ・不安な気持ちがあるのではないか。 ・出演をきっかけに差別されたり、結婚できなくなってしまうかもしれないと思ったのではないか。 <p>不安や嫌な気持ちがある中で、私たちは、部落差別とどう向かい合っていけばよいのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ずっと迷ってまでビデオに出てくれた美穂さんの思いを受け止めたい。 ・美穂さんと同じように悩んでいる人の思いを知りたい。 ・私たちが差別されるかもしれない不安を与えているのだから、積極的に差別をしないことを訴えたい。 ・自分の結婚についても家族としっかり話し合いたい。 ・部落差別を正しく学んで、自分が差別をしないことを行動で示していきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・見守って、応援してくれる人がいてよかった。 ・私も美穂さんの彼のようにしっかり受け止めたい。 ・おじいさんともいつか理解し合える日が来るといいなと思う。 ・家族にも、今日友だちとこの時間に考え合ったことを伝えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4、5 人のグループペアやグループで話し合えるよう声掛けする。 ○ 友だちの話を聴いて、どこが同じで違うのか、取り入れたいと思った意見は学習カードに書き込んでおくのがよいことを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の振り返りを学習カードに書き残すことを伝える。 ○ 美穂さん出演を躊躇させたのは、「世間＝私たち」でもあることを問いかけた。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 右の資料を紹介する ○ 「今日考え合って自分にとって大事なことは何だったのだろう」と問いかける。 ○ 数人の意見を紹介し、共有できるようにする。 ◎ 部落差別の現状を理解した上で、美穂さんの思いに気づき、自分はどうすべきか考えることが出来たか。 	<p>15</p>	<p>学習カード</p> <p>「よかったね美穂ちゃん」(朝日新聞) ☆</p>
----------------------------	--	--	---	-----------	--

☆「よかったね美穂ちゃん」 1997. 7. 14 朝日新聞コラム

(Human Rights in Nagano 高校用同和(人権)教育指導資料にも転載)

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kokoro/jinken/gakko/humanrights.html>